

とうきょう すくわくプログラム
活動報告書

クレイドルの保育園 こどもと私 久米川
2024年9月～2025年1月



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん




1. テーマ：音（1歳児 8名）

〈テーマの設定理由〉


子どもたちが日頃から身近な音に気づき、興味を持っているため「音」をテーマとして設定。

散歩に出ると様々な音に出会い、「ん？なんの音？」と不思議そうな表情を見せる子どもたち。さまざまな「音」に気づき、探求していく。






2.活動内容

- 9月：身近な物を叩いたり、破ったりして音の違いを感じてみよう！
 - 10月：周りの音に耳を澄ませてみよう
 - 11月：秋の自然に関する音を探しにいこう
 - 12月：自然物を拾いに行ってみよう
 - 1月：秋の自然を使って楽器を作って演奏してみよう♪
- 



3.環境をデザインする

- 手作りのスティック
 - 鈴
 - 新聞紙
 - 音探しカード
 - 散歩バッグ
 - マラカス用ペットボトル
- 

4.探究活動の実践



壁を叩くとどんな音が
するかな？



どんぐりを入れて
マラカスを作ったよ！



スティックで叩いてみよう！



鈴はこんな音がするんだね☆



葉っぱの絨毯だ！
カサカサ音がするよ♪



音が違うぞ?! ガラスなので
柔らかいスティックで叩いて
みました。



葉っぱの上を走ると違う
音になったね~



音楽に合わせて手作り
マラカスでウォーキング！

5.振り返り

〈9月〉園内の壁や扉、鏡やガラスなどを叩いてみることで、音の違いに気づくことができた。子どもたち同士で顔を見合わせ微笑み合う姿が印象的だった。手作りの柔らかいスティックを使うことで、子ども同士でも安全に取り組むことができた。

〈10月〉川沿いや大通りなど園内では体験できない「音」探しに行く。川の近くまで行き、「し〜！」と口にしながら川のせせらぎに耳を澄ましていた。保育士の声掛けも最低限にし、自然の音に耳を傾けることで、穏やかな表情を見ることができた。

〈11月〉落ち葉がたくさんある公園に散歩に行き、葉っぱの擦れる音や踏みしめたときのカサカサという音に大興奮の子どもたち。夢中で落ち葉の上を駆け回っていた。自然の変化に気づく児や自然物に触れ合う児など様々な姿を見せていた。



〈12月〉散歩先で見つけた、自然物。何気なく袋やケースに入れる時の音を擬音で伝え、興味を示す子どもたち。砂はサラサラ〜、パラパラ〜。どんぐりや木の実はぽとん、ころんなど楽しむ姿が見られた。擬音に変換することで歌遊びにも発展していた。

〈1月〉秋に拾ったどんぐりを使用し、手作り楽器「マラカス」を作った。容器にどんぐりを入れる際は、ぽとん、ころんと擬音を発しながら行う姿が印象的だった。自分の作った楽器を手に嬉しそうな表情の子どもたち。音楽に合わせてリズムを取る児もいた。

